第十一回 木曽三川流域連携シンポジウム

新たな時代の流域交流

～流域の魅力やSDGsによる地域活性化に向けて～

第１部

◆事例紹介

◆パネルディスカッション

コーディネーター

原　理史 氏　環境省中部環境パートナーシップオフィス

パネリスト

土屋　諭 氏　OKB大垣共立銀行
伊藤　栄一 氏　特定非営利活動法人森のなりわい研究所
平野　佑典 氏　木祖村地域おこし協力隊

第２部

◆座談会

・御嶽海関
・名古屋市長

◆抽選会

★御嶽海関サイン色紙
★流域特産品など

木曽川〇なごやの水応援大使
御嶽海関

全体司会者　ミス日本「水の天使」竹田　聖彩 氏

日時

令和５年
5月31日(水)　13：30 から 16：00　開場 12:30

会場

名古屋能楽堂
名古屋市中区三の丸一丁目１番１号

アクセス　当日は公共交通機関でお越しください

・地下鉄鶴舞線「浅間町」下車
　１番出口より東へ徒歩10分
・地下鉄名城線「名古屋城」(旧「市役所」)下車
　７番出口より西へ徒歩12分
・市バス「名古屋城正門前」下車すぐ
　(栄13号系統、栄27号系統、西巡回系統)
・なご観光ルートバスメーグル
　「名古屋城」下車すぐ

申込方法

参加費 無料

定員 抽選 300名

申込期限

5月10日(水)

ネット申込

右のQRコードまたは下記URLにアクセスし、必要事項を入力し登録
https://www.water.city.nagoya.jp/kisosansen/category/topics/145942.html

往復はがき申込

往復はがきに『氏名』『住所』『電話番号』を記入し以下の住所に郵送

抽選結果・事前案内は、5月17日(水)頃 ご連絡します

申込先
名古屋市上下水道局経営企画課
【住所】〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目１番１号

主催：木曽三川流域自治体連携会議（事務局：名古屋市上下水道局）

出演者プロフィール

土屋 諭（つちや さとし）氏

OKB大垣共立銀行
常務取締役

パネリスト

オリックス株式会社、みずほフィナンシャルグループを経て、2014年5月株式会社大垣共立銀行に入社。2017年6月に取締役名古屋支店長に就任。2018年6月より常務取締役を務め、現在に至る。当社が地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献できるようサステナビリティに関する各種取り組みを推進。

伊藤 栄一（いとう えいいち）氏

特定非営利活動法人森のなりわい研究所
代表理事・所長

パネリスト

20歳まで名古屋市で育ち、バードウォッチングに目覚める。岐阜大学農学部に入学し、助手、農学部付属演習林専任講師を経て、森林研究者として、「森のなりわい研究所」を設立。森林に関する調査研究や講演、フィールド活動などを通じて「森の魅力」を伝える。ニックネームは「やまんじ」。

平野 佑典（ひらの ゆうすけ）氏

木祖村地域おこし協力隊

パネリスト

「子どもたちに原体験を届け続けます」を軸に、木祖村と名古屋を中心とした多拠点生活を送る。18歳からの10年間を名古屋で暮らす。大学では「芸術工学」を学び、仲介業、企画営業、インストラクターなど数々の経歴を経て、独立。令和３年より木祖村地域おこし協力隊に入隊。ニックネームは「らすかる」。

原 理史（はら まさし）氏

環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部）

コーディネーター

1998年、環境系コンサルタントから社団法人環境創造研究センターへ転籍。愛知教育大学非常勤講師を務め、2010年、名古屋産業大学大学院博士後期課程修了。現在、EPO中部および中部大学中部高等学術研究所に所属し、環境分野の研究、教育、普及啓発等に携わる。これまで、地球温暖化やSDGsをはじめ各種の講演やコーディネーターを務める。

御嶽海（みたけうみ）関

大相撲力士

特別出演

長野県木曽郡上松町出身で、東洋大学在学中に相撲大学大会で個人優勝15回。2015年2月に出羽海部屋入門、最高位は大関。四股名には地元上松町から望める御嶽山に出羽海部屋の「海」をつけた「御嶽海」。2022年6月に木曽三川の流域連携およびなごやの水道・下水道について効果的な広報の促進を図ることを目的に、「木曽川〇なごやの水応援大使」に就任。

竹田 聖彩（たけだ せいあ）氏

ミス日本「水の天使」

司会者

名古屋市出身。困った人にやさしく寄り添う存在を目指し、名古屋大学医学部医学科に通い勉学に励む。幼少時に在住していたタイでの水循環状況を体験し、日本の優れた水循環に気が付く。ミス日本コンテストは「将来社会をより良くする人物となるためにたくさんの経験と成長を提供する」ことが目的と知り、自らも視野を広げるために応募し入賞。

木曽三川流域自治体連携会議では、
木曽三川の水環境を将来にわたり守っていくため、
流域のみなさまと連携の輪を広げていきます。

本紙の風景写真は、木曽三川流域フォトコンテストの応募作品を使用しています。
表面背景：（撮影場所）長野県木曽郡大桑村　（作品名）阿寺ブルー全景
本面背景：（撮影場所）岐阜県揖斐郡揖斐川町（作品名）川の生命美

お問合せ
名古屋市上下水道局経営企画課
【TEL】052-972-3615（平日8:45～17:30）
【E-mail】keiei@jogesuido.city.nagoya.lg.jp